

第62回青雲塾報告

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

青雲塾担当 松井繁幸（第23期）

1.日時 12月9日(日)午後1時30分~4時30分

2.場所 大阪大学中之島センター 多目的室 607(20席)

3.会費 2,500円(・レクチャー1,000円 資料代その他経費を含む。・茶話会1,500円)

4.講師 山中永之佑先生(大阪大学 名誉教授 青雲会 旧制 III 期生 1953年卒業)

5.演題 「明治初年の堺県政と住民-自治の視点から-」

6.講師のプロフィール

1928年大阪府堺市生まれ。1953年大阪大学法経学部法学科卒、大学院に進む。1957年法学部助手、1961年8月講師、1965年1月助教授、1970年3月教授、1975年「日本近代国家の統治機構の法的構造に関する研究」で法学博士(大阪大学)。1983-1985年法学部長、1988年日本学術会議会員、1992年大阪大学を定年退官、名誉教授、追手門学院大学経済学部教授、1995年経営学部教授。2000年退職。2008年瑞宝中綬章受勲。日本近代法制史が専門。

7.主な著書

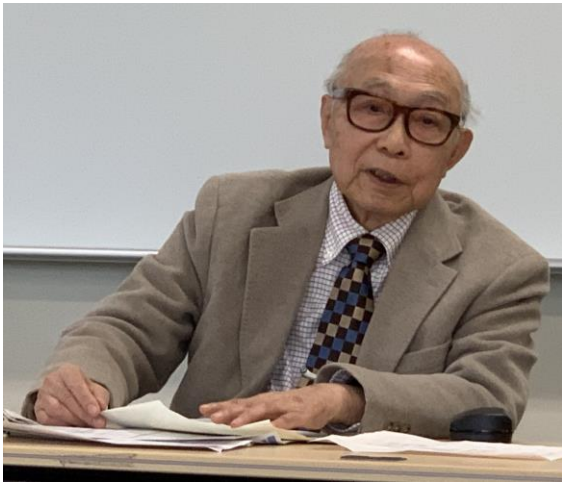
- ・『日本近代国家の形成と官僚制』弘文堂 1974
- ・『日本近代国家の形成と村規約』木鐸社 1975
- ・『日本近代国家の形成と「家」制度』日本評論社 1988
- ・『近代日本の地方制度と名望家』弘文堂 1990
- ・『幕藩・維新期の国家支配と法 官僚制・兵制・村・家・婚姻を主題とする』信山社出版 1991 日本法制史
- ・『日本近代国家と地方統治 政策と法』敬文堂 1994
- ・『近代市制と都市名望家 大阪市を事例とする考察』大阪大学出版会 1995
- ・『日本近代地方自治制と国家』弘文堂 1999
- ・『民事裁判の法史学 村と土地の裁判と法』法律文化社 2005

8.講師からひと言

青雲塾でのお話は大学の講義ではありませんので、堺県という私たちに身近な地域を事例として明治初年の県政と住民というテーマを自治という視点から話してみたいと思います。私の拙い話が、現在の官僚や自治のあり方を考える参考になれば幸いです。皆様にお会いするのを楽しみにしています。

9.青雲塾担当から

青雲塾ご参加の皆さんから、山中先生のお話を聞きたいという強い希望が多数寄せられていました。そこで、かねてから加堂裕規さん(23期)を通じて、青雲塾でお話しただけでないか打診していただきました。このほど先生から快諾のご返事をいただき、実現の運びとなりました。残念ながら山中先生の日本法制史を受講するチャンスに恵まれず、入学時のオリエンテーションのうちに一度だけ、警咳に接する機会を得た記憶があります。10冊目に当たる大部の著作に取り組んでおられるところ、ご無理をお願いして恐縮です。



① 今、出版に向けて準備が進む 800 頁を超える著作について語る声に熱がこもる山中先生



② 参加者も今日はいつになく緊張感が先生の前では今も学生



③ レクチャー全景 半世紀を超えて先生の講義に接する人も



④ 山中先生の卒寿の誕生日を3日後に控えて筆頭の塚口純行さん(4期 左)の音頭で乾杯!



⑤ 茶話会全景 アルコールもはいつて和らぐ



⑥ 茶話会で談笑